

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年10月6日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3770101560
法人名	社会福祉法人サマリヤ
事業所名	西春日グループホーム
所在地	香川県高松市西春日町1511-1 (電話)087-869-1165

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成21年8月19日	評価決定日	平成21年10月6日

## 【情報提供票より】 (21年7月10日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	13年	10月	1日
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人	
職員数	11人	常勤	9人,	非常勤 2人, 常勤換算 9.8人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り
	3階建ての3階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000円	その他の経費(月額)	10,000円+実費
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	950円	

### (4) 利用者の概要(7月10日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	0名	要介護2	2名		
要介護3	3名	要介護4	2名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 88歳	最低	84歳	最高	91歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	高松市民病院・佐藤クリニック・大西病院
---------	---------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

この事業所は、一人ひとりの生活歴を大切にされた個別援助をモットーとし、利用者は畑仕事や料理など趣味に応じた楽しみ・役割を持って日々生活している。また、散歩、買い物、外食、地域の行事参加等を積極的に取り入れ、活動的なグループホーム運営を目指している。終末期においても、本人・家族・医師・職員間で十分に話し合いを重ね、看取りも含めて希望に沿った支援ができています。事業所単独で環境、食事、広報、リスクマネジメントなど9分野の委員会が設置されており、それぞれが年間の事業計画を作成し、進行管理を行いながら利用者のよりよいサービス提供に取り組んでいる。課題等についてもこれらの委員会で改善に向けて検討し、全員で共有・実践している。利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けられる運営が期待できる事業所である。

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義を理解しており、各種委員会がそれぞれの立場で改善課題等に取り組む、意見箱を設置したり同業者との交流に取り組む等多くが具体的に改善されている。しかし、入浴を楽しむことができる支援のための浴室改善に関するものが継続課題である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者・職員は自己評価の意義を理解しており、自己評価内容について職員と意見交換し、作成した。よりよいサービス提供のために多くの課題も出され、日々の実践を振り返る機会にしている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>利用者本人、家族を始め幅広い関係者の参加を得て、2カ月に1回開催し、地元行事や地域の情報、災害時の対応、体制づくりを議題にするなど地域との関係づくりに積極的な運営がなされている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>毎月、広報誌「そら」の発行に合わせて、担当職員が利用者一人ひとりの健康状態、外出や行事への参加等の暮らしぶりを直筆の文書で報告し、金銭管理の状況や職員異動の報告も行い家族の安心・信頼を得ている。苦情受付窓口を説明・表示、意見箱の設置、アンケートを実施する等意見表出の機会を設けている。不満、苦情だけでなく、希望も把握し運営に反映させるようにしている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>保育所やコミュニティセンター、地域の商店との関係づくりに積極的に取り組み、散歩や買い物、外食、地元行事への参加等により地元の人々との交流に努めている。さらに、事業所の日々の生活の中に地域の人々が訪れてくる双方向の交流機会が増える取り組みに期待したい。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「馴染みのある人たちと共に、住み慣れたところで、その人らしく安心して」過ごせることを独自の理念とし、個別援助を大事にした支援をしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝夕の申し送り時などで理念の共有・確認を行っている。さらに、9分野からなる委員会がそれぞれに事業計画を立て、一人ひとりのニーズに即したケアを実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	保育所やコミュニティセンター、地域の商店との関係づくりに積極的に取り組み、散歩や買い物、外食、地元行事への参加等により地元の人々との交流に努めている。	○	さらに、地域の商店が事業所の利用者向けの品物を揃えてくれるような関係づくりが実現し、併せて、日々の生活の中に地域の人々が訪れて、交流が深められる機会が増えることに期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解しており、各種委員会がそれぞれの立場で改善課題等に取り組み、多くが具体的に改善され評価が活かされている。しかし、入浴を楽しむことができる支援のための浴室改善に関することが継続課題である。	○	浴室は施設整備を要することから、法人の考えや現状の対応策・取り組みを利用者・家族、運営推進会議に説明し理解してもらい、デイサービス事業所と入浴時間の調整等ソフト面の更なる取り組みに期待したい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者本人、家族を始め幅広い関係者の参加を得て、2カ月に1回開催し、地元行事や地域の商店情報、災害時の対応・体制づくりを議題にするなど、事業所・利用者が地域の一員として生活できる運営に取り組んでいる積極的な姿勢がうかがえる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者とは運営推進会議以外にも機関紙を届けたり、毎月の運営状況の情報提供を行うなど常に連携をとり、サービスの質向上を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、広報誌「そら」の発行に合わせて、担当職員が利用者一人ひとりの健康状態、外出や行事への参加等の暮らしぶりを直筆の文書で報告し、金銭管理の状況や職員異動の報告も行い、家族の安心・信頼を得ている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付窓口を説明・表示、意見箱の設置、アンケートを実施する等により不満、苦情だけでなく、希望も把握し運営に反映させるようにしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は、利用者へのダメージ、家族への影響もあることを認識し必要最小限に抑える努力をしている。その事態にあっても、時間的な余裕を持って馴染みの関係をつくり対応できる体制にある。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人ひとりの経験や役割、職員の希望等に応じて研修に派遣している。主任・リーダー・管理者によるOJT教育も行われており、事業所独自の職員を育てる体制ができています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や職員が地域の同業者と相互評価を実施したり、事業所行事の交流等の活動を開始し、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	受け持ち制により支援している。利用前から見学、話し合いにより事業所の雰囲気に触れて納得し、安心感をもって利用していただける対応に努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者と介護者という壁を作らず人生の先輩として接している。利用者から励まされたり、温かい声かけで元気をもらっている事を実感している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常に、利用者によく話し、聴く事に心がけ希望に沿えるよう努めている。希望や思いの表出が困難な場合も、行動や表情から思いや意向を把握し、本人の立場に立って検討するようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	医師や管理栄養士からの情報も得、利用者・家族・担当者による担当者会議を行い、利用者主体の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	モニタリングを基に定期的な見直しと、日々の介護記録や状態変化等必要に応じて関係者による話し合いを行い、介護計画を見直している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	生活に変化を持たすために併設施設の活動を取り入れたり、通院・外出時の送迎、コミュニティセンター行事への参加など柔軟に対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望によるかかりつけ医の医療を受けられることを説明し、希望に沿った対応ができています。いつでも相談に応じてもらえる関係にある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用開始時に説明し、その後も本人や家族、医師、職員が繰り返し話し合い、その方針を共有している。看取りも含めて希望に沿ったケアができるように知識・技術の研修も重ねている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉かけや行動に誇りやプライバシーを損ねる事のない対応を心がけている。また、個人情報については細心の注意を払い、取り扱いをしている。	○	施設のハード面の現状では、特に、申し送りはオープンスペースで行うことから、利用者の尊厳にさらなる配慮をお願いしたい。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、声かけしながらその日の希望に沿えるよう柔軟に対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を、準備・調理・盛りつけ・片づけ等一連のものとして、無理のない範囲で参加を促し、食事が楽しいものになるよう支援している。職員も利用者と一緒に同じ食事をしながら、さりげない援助をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	事業所の浴槽が壊れているため、併設事業所の浴室を利用している。その状況の中で、利用者が入浴を楽しめるよう工夫、配慮し支援している。	○	設備改修については、長期計画を立て実行に向けた更なる取り組みに期待したい。当面の対応策としてのデイサービス事業所との入浴時間等の調整の中で、さらに利用者の一人ひとりが入浴を楽しめるよう期待したい。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜や果物を栽培する畑仕事、調理・花の水遣りなど一人ひとりができる範囲で役割を持ち、また、趣味を活かした活力のある生活を支援できている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くの畑での作業や買い物、散歩等日常的な外出支援を大切にしている。外出できない場合も館内や屋上の散歩により気分転換を図っている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や事業所の出入り口は、施錠されていない。しかし、建物からの出入りには暗証番号で管理しているエレベーターを利用すること、建物玄関までの経路がわかりづらく、利用者の行動に不自由さが考えられる。	○	表示については改善されているが、さらにグループホームの「玄関」及び玄関周辺の機能を、利用者・来訪者の立場に立って検討・工夫されるよう期待したい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	関係施設全体の消防訓練や避難訓練に参加し、事業所内で確認しあっている。また、運営推進会議のなかで地域との連携、協力依頼を予定している。	○	さらに、事業所内の設備点検(整理整頓、落下や転倒物のチェックなど)を実施し、それに伴う対策や非常用物品の整備なども委員会活動に期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランス・食事量・水分補給に配慮しながら、食事の形態や食事介助は一人ひとりに応じた支援を実施し、状態は介護記録に記入し、職員が共有できている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	照明は柔らかく落ちついた雰囲気の中で、鈴虫の鳴き声が聞こえている。テレビを観たり一人静かにくつろいだりと思い思いに居心地よく過ごせる場所がある。	○	4カ所の共有スペースは、職員の動きや位置によって、職員と利用者が相互に目が届きにくい場所関係にあることを常に意識し、一人ひとりの利用者にとって居心地よく安心感のある場所として活用してもらえよう配慮をお願いしたい。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れたものや自分の作品を飾るなどにより、居心地よく過ごせるような支援・工夫がされている。		